

飯山市地方創生総合戦略会議（第5回）顛末

委員 出席者：18人 欠席者：7人

日時 平成27年10月5日（月） 15時30分～
場所 飯山市役所 全員協議会室

1 開会（進行：企画財政課長）

2 市長あいさつ

3 報告事項（事務局）

- ① パブリックコメント実施結果 9/11～9/30の間実施 意見提出件数 0件
- ② 飯山市総合戦略（素案）に係る飯山高校・飯山北高校からの意見・提案

4 協議事項（進行：会長）

(1) 飯山市人口ビジョン（案）について（資料1）

（事務局）資料1について説明

(2) 飯山市総合戦略（案）について（資料2）

（事務局）資料2について説明

（委員）在京テレビ局と打ち合わせをしたが、その中で農産物の産地からの情報が足りないとの話が出た。ブランド米の価値向上という文言があるがどうやって発信していくのか、行政、JA、生産者等色々なパターンがある。お金はかかるが、どれだけ顧客に効果的なPRができるのか「絵に描いた餅」にならないようにしてほしい。

（事務局）アクションプランの中で事業の具体化を図っていきたい。

（委員）米食味コンクールについては、入賞しただけで自己満足に終わっているのではないのか。いかにそれを利益に結び付けるか、経営的な視点、経営者の育成が大切。

（委員）人口ビジョン、目標人口の達成を前提とした施策やKPIの設定となっているのか確認したい。

（事務局）そのとおり。

（会長）戦略は全体を網羅したものであり、この戦略の施策の中から特に重点的に取り組むべきものをアクションプランに位置づけ、重点的な投資ができるようにしていく必要がある。

（副会長）会長の発言のとおり、人口を増やすことに主眼を置く必要がある。目標人口達成のためどれに重点を置くべきか検討しなければならない。

（委員）こんなに沢山あってもやりきれない。もう少し絞り込んで具体的に誰が責任者・担当者となるのか等をアクションプランに位置づけるべき。また、市民、企業、行政が一体となって取り組むような組織体制づくりも大事。

（会長）重点的なものを戦略から絞り込んでいかなければならない。その代り必ず達成するという意気込みをもって取り組んでいく。

（委員）農業・観光の連携が図れるように横断的に取り組める組織づくりも必要だ。

（会長）子育て、移住定住、雇用創出、人材育成についてもどれもしっかりやっていく必要がある。

（委員）今回策定するのは総合戦略。総花的にならざるを得ない。多面的にやる必要がある。トータルで「飯山市は良いところ」と見せることが大事。アクションプランは予算化していく過程で必要。

（会長）全体とすればこの資料2の案でやむを得ないと思うが、外部へアピールできるようなものがなければならない。例えば資料2の3ページにある基本方針は古臭い印象。20年も前の総合計画のようだ。

（委員）見せ方は市町村それぞれ違って良いと思う。

（会長）子育て分野についてはどうか。

- (委員) 子育て・少子化対策は、何か一つやったから良いということではない。色々な要因が複雑に絡んでいる。一点に絞ることは難しい。
- (会長) 市町村の取組みが全国から注目されるときに取り上げられるものとして特色ある教育が話題になることがある。教育はその市町村のセールス・ポイントとなる。資料2の教育分野における KPI はだいぶ現実的なものとなっているが今後の事業構築に向けてどう考えるか。
- (教育長) 地方創生において教育が市町村のセールス・ポイントとなるのは理解しているが、全国に注目されるような特色ある事業を実現させるには相当の予算も必要。
- (副会長) 今この会議で議論が必要なのは「東京から人をもってくるか」、それとも「周辺から人をもってくるか」どちらに的を絞る必要があるかを明確にすることではないか。それが無いとぼやけたものになる。的をもっとシャープにすべき。
- (教育長) 教育分野で言えば、まずは飯山市の子どもたちの学力を向上させていきたいという思いである。
- (副会長) 的を絞ることは教育に限ったことではない。他の政策分野でも同様。少しずつ効果を上げるのか、それとも大きな効果を短期的に求めていくべきなのか議論した方が良いのではないか。
- (会長) ターゲットの議論は大事。その辺はアクションプラン構築の中で具体化していきたい。人的にも財政面でも限度があるが、特色ある取組みを出していきたい。
- (委員) 戦略に記載されたことの一部しか取り組めないということになるとその点をしっかりと説明し、理解を得なければならない。
- (委員) 人口増の第一歩はまず飯山市を知ってもらうこと。観光で飯山市を訪れてもらうことが移住定住の一步につながる。飯山高校のスポーツ科学科は全国に通用するネームバリューがある。夏期合宿を同科の生徒と一緒にやるツアー等で人を呼べるのではないか。
- (副会長) 人口増のためにどこに焦点を当てるかは教育分野に限ったことではない。全般的に議論していくべき。
- (会長) アクションプランづくりに委員の皆様にも分野ごとに参画していただけたらどうか。具体的に何を尖らせるかをしっかり議論していただくことで実効性の高いプランになっていく。国の財政支援については2分の1以内で1億1千万円規模と聞いているが、財政的な面も考慮してアクションプランの検討を進めたい。戦略策定の次の段階が大切。この戦略会議での検討は日程的に難しいと思うので分野別に進める予定としたい。
- (委員) アクションプランはとても重要。コンセンサスを得るには何回もやらないといけない。10月策定後も継続し、幅広く意見が聞けるようにするべきだ。
- (事務局) 分野別に事業の具体化に向けた検討を進めていく。コンセンサスが得られるようにしていきたい。
- (委員) アクションプランの事業実現のためには「皆で決めた」という意識づけが必要だ。
- (事務局) 11月末までにはアクションプランで事業名と事業概要を示したい。現行の事業に加え、新たに国の交付金により対応する事業等を盛り込んでいきたい。

(3) 質疑・意見交換

(1)・(2)以外特になし。

(4) 今後の予定について

- ① 10月 6日～ 区長会協議会、商工会議所、JA、市議会研究会へ説明
- ② 10月30日 第6回 戦略会議

(5) その他

5 その他

6 閉会 16:56